



目次

P-1 ご挨拶	P-5 倉敷市いきいきふれあいフェスティバルへ モデルガーデンづくり
P-1 新年度の主なスケジュール えがお保育園での活動	P-6 移動役員会
P-3 岡山市石山公園の花壇の手入れ	P-7 浅口市社協での園芸福祉活動
P-4 勝央町特別養護老人ホーム「あかり」と津山市立 南小学校での児童との活動支援	P-8 第2回オンラインシンポジウム

立春の候、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、協会活動にあたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年2月以降、全国で新型コロナウイルス感染症が拡大し、もう3年目を迎えました。数度にわたるワクチン接種により一時は状況も好転するかと期待され、今年は、行動制限がない正月でしたが、現在は第8波の中で、陽性者も毎日増加しています。

協会の活動も3年続きで大きく制限されました。本協会の活動では、昨年5月8日に総会と園芸教室を開催することが出来ました。他方、初級園芸福祉士養成講座も、一部の地域を除いて全国的に開催を取り止めています。日本園芸福祉普及協会では、引き続き研修会等の開催も取りやめています。

園芸福祉活動につきましては、昨年度も1年間、回数は減らしましたが、外でのえがお保育園や勝央町特別養護老人ホーム「あかり」等での取り組むことができました。これら諸活動にあたり、ボランティア活動等会員の皆様方から多大なご支援・ご協力をいただきましたこと、役員一同心から感謝申し上げます。

昨年度に引き続き、本年度も、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。結びに、本年が会員皆様方の活動や交流が再開される年となることを願っています。

令和5年2月12日
岡山園芸福祉普及協会
理事長 西村 清

令和5年度通常総会の開催日時・・・・・・・・・・

令和5年度の通常総会を次の日程で開催します。昨年度と同様書面議決等でご参加ください。

- 1 日時 令和5年5月7日(日)10時～ (変更の折は、また、ご連絡します。)
- 2 場所 岡山市立高松公民館(例年どおり)
- 3 議題 4月に資料を別途お送りします。

えがお保育園での園芸活動・・・・・・・・

芋掘り

令和4年10月18日(火)協会の会員有志5名が畑に集まり、園児が行うサツマイモの収穫のサポートを行いました。参加された園児(1才児から年長まで86名)に加え保育士さん16名と大盛況でした。特に、サツマイモは大豊作で150キログラムの収穫でした。



岡山市石山公園の花壇の手入れ・・・・・・・・

9月13日、ももぞの育成園で作った花苗(ナデシコ、ペゴニア、マリーゴールド各20本)を岡山市からいただき、岡山家庭裁判所少年友の会の方々(9名)と県庁退職者の会(3名)のご協力をいただき、新しい花壇に植え込みました。



12月6日、本年最後の植え替えです。葉ボタン20本、ビオラ40本を岡山家庭裁判所少年友の会の方々(6名)のご協力をいただき新しい花壇に植え込みました。



勝央町特別養護老人ホーム「あかり」と津山市南小学校での児童との活動支援・・・・・・・・

年間を通して、片田義孝さん達が、特別養護老人ホーム「あかり」で、寄せ植えや花植を行っています。

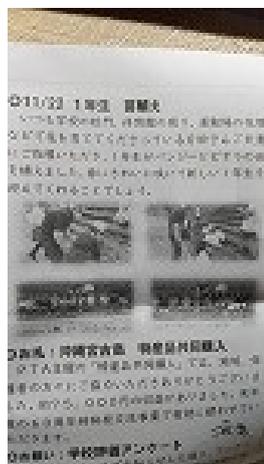


11月5日、「あかり」の中庭でボランティア2人、担当者1人、お手伝い2人で10時頃からプランター20個の土替えをして、昼からピオラ、パンジーを各20本ずつ植えました。また、葉ボタンを4本植えました。

津山市では、片田義孝さん達が、11月22日 津山市立南小学校の小学校の一年生24名と一緒に花植をしました。ピオラとパンジー72鉢を二つの花壇に分けて植えました。ボランティア2人と先生4人で楽しく植えました。



生徒さんからお礼の手紙をもらいました。



倉敷市いきいきふれあいフェスティバルへ・・・・・・・・



10月16日(日) 倉敷市水島緑地福田公園の体育館で3年ぶりにいきいきふれあいフェスティバルが開催されました。藤原さん、柴田さん、成瀬さん達が、ボランティアで冬・春花苗の苔玉作りを指導されました。

モデルガーデンづくり

令和4年11月19日(土)秋晴れの日、えがお保育園の畑に一角にあるモデルガーデンの手入れをしました。

設計図 「心ほっこりガーデン」



ハート型に葉ボタンを植え、その周りにピオラを植え、中にはナデシコを植えるものです。赤い葉ボタンには、白いナデシコ、白い葉ボタンには赤いナデシコを植えました。



1 2



月 2



8日の様子です。



きれいに咲いています。

移動役員会

12月11日 山下弘美さんの「園芸福祉サロン」で移動役員会を開きました。

山下さんが用意する材料で1時間ぐらいで一緒に押し花を作りました。その後、山下さんの畑の地野菜を収穫、皆で楽しく調理、会食しました。



浅口市社協での園芸福祉活動

12月8日(木)浅口市の社会福祉協議会からの依頼で、藤原博明さんと藤井順子さんが、希望者に寄せ植えの指導を行いました。

開催の目的

- 目的 浅口市のボランティア協議会がXマス、正月用寄せ植えを作り、市内の医療機関、保育園、こども園等に届ける。今年で3回目
- 日時 令和4年12月8日(木) 9時～ 11時30分
- 場所 浅口市社会福祉協議会 浅口市鴨方町
- 参加者 28名
- 指導者 藤原博明さんと藤井順子さん
- 鉢等 11号鉢、寄せ植え用の花は12種類

指導風景



完成

第2回オンラインシンポジウム・・・・・・・・

コロナ禍の中、中々対面での交流が難しくなっています。そこで、昨年、日本園芸福祉普及協会では、7月30日に ZOOM でのリモートミーティングを開催しました。本年は、来る3月4日(土)10:00~12:00に第2回オンラインシンポジウムを開催します。今回のテーマは「地域に広がる園芸福祉」です。

【事例発表】

「人と人 人とみどりをつなぐ「食べられる景観」で園芸福祉 - エディブルウェイの取り組み - 」
千葉県 江口亜維子

「保育施設で園芸福祉・うまくいくこと いかないこと」 長野県 朝比奈優子

「私の園芸福祉サロン～人生100年時代を楽しむ～」 岡山県 山下弘美

【パネルディスカッション】 「地域に広げる園芸福祉」

コーディネーター 吉長成恭(日本園芸福祉普及協会理事長)

パネラー 事例発表者3名ほか

【総 評】 吉長成恭(日本園芸福祉普及協会理事長)

参加費 無料

参加資格 日本園芸福祉普及協会会員、初級園芸福祉士及び園芸福祉士資格保有者

参加方法 メールにて、件名「第2回オンラインシンポジウム参加希望」とし、氏名、岡山園芸福祉普及協会会員、連絡先(メールアドレス及び電話番号)を明記の上、Kyokai@engeifukusi.com宛てにお申込みください。

申込締切 令和5年2月22日(水)

参加方法 2月27日(月)に参加用 URL をメールでお送りします。

留意事項 シンポジウムに参加するに当たり、次の留意事項を遵守してください。これらを守れない場合は、参加をお断りすることがあります。

- ・シンポジウムを撮影、録音しないこと
- ・シンポジウム参加用の URL を転送したり公開したりしないこと

その他

- ・インターネット通信料は、参加者の負担となります。
- ・パソコン、タブレット、スマートフォン等での参加が可能ですが、安定したネットワーク環境を推奨します。
- ・ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

編集後記

この冬は、記録的な雪となっています。また、全国で、新型コロナウイルスのオミクロン株による第8波の感染拡大が急増し、何かと気が抜けない毎日です。

しかし、季節の梅も着実に咲き始めています。皆さま、ご健勝と今年のますますのご活躍をお祈りします。